

## 食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者 (令和6年度)

本資料は、食品リサイクル法に、基づく定期報告（令和6年度実績）の表18「国が公表を行うことについての同意の有無」において、「有」と記載いただいたすべての事業者について、「事業者名」、「発生原単位」、「再生利用等実施率」、「判断の基準となるべき事項の遵守状況」及び「食品循環資源の再生利用等の促進のための先進的な取組」を掲載しています。

なお、「判断の基準となるべき事項の遵守状況」については、全51項目のうち、「該当なし」と回答のあった事項を除く事項に占める「適」と回答のあった事項の割合を「表14における適の割合」として掲載しています。

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 米麦卸売業・雑穀卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
1	ホクレン農業協同組合連合会	売上高	19.77077	kg/百万円	0.0	100.0	
2	株式会社大潟村カントリーエレベーター 公社	売上高	1376.8519	kg/百万円	57.1	85.3	
3	三菱商事株式会社	売上高	2.44962	kg/百万円	94.1	100.0	・ 社内の食品廃棄物が発生する部局に対し、食品循環資源の再生利用等の促進も含めた環境法規制の説明会を実施 ・ 社内で発生する食品サンプルの廃棄については、廃棄内容を台帳に記載することで可視化し発生抑制に努めている。
4	丸紅株式会社	売上高	1.01341	kg/百万円	30.1	100.0	
5	有限会社 星山米店	売上高	239.39648	kg/百万円	100.0	81.5	
6	株式会社細山商店	売上高	327.77233	kg/百万円	100.0	100.0	
7	株式会社 ハナノキ	生産量	141.00081	kg/t	100.0	90.9	
8	株式会社 名古屋食糧	売上高	129.90937	kg/百万円	100.0	95.2	
9	株式会社森光商店	売上高	76.43476	kg/百万円	100.0	90.9	
10	熊本パールライス株式会社	売上高	301.5814	kg/百万円	100.0	91.3	
11	株式会社 丸福商事	売上高	298.02891	kg/百万円	97.9	87.5	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 野菜卸売業・果実卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位				単位
1	北海道エア・ウォーター・アグリ株式会社	売上高	77.02893	kg/百万円	100.0	96.0	
2	カルビーポテト株式会社	売上高	22.01179	kg/百万円	95.3	96.3	
3	株式会社 石巻青果	売上高	15.56277	kg/百万円	0.0	100.0	
4	仙台あおば青果 株式会社	売上高	32.86397	kg/百万円	13.1	70.6	
5	株式会社 鈴商グリーン	売上高	0	kg/百万円	0.0	96.0	
6	JA全農青果センター株式会社	売上高	40.37975	kg/百万円	9.7	100.0	なし
7	株式会社 浜松ベジタブル	売上高	260.69566	kg/百万円	36.4	94.4	
8	株式会社R&Cながの青果	売上高	6.53238	kg/百万円	55.0	100.0	
9	横浜丸中青果株式会社	売上高	10.75692	kg/百万円	8.9	79.2	
10	株式会社 丸中	売上高	717.70408	kg/百万円	96.9	93.3	
11	有限会社埼玉フーズ	売上高	21.39535	kg/百万円	100.0	100.0	
12	株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	売上高	39.01975	kg/百万円	59.4	96.2	
13	株式会社 日本アグリネットワーク	売上高	0	kg/百万円	100.0	95.7	
14	ANAフーズ株式会社	売上高	40.7325	kg/百万円	46.4	100.0	
15	株式会社PeaceDeli	売上高	151.74954	kg/百万円	39.6	100.0	福祉目的でのフードバンク等への食品提供量（有償：t、無償：3.0t）2023年度 1,999kg 2024年度 3,046kgの食品提供
16	全国農業協同組合連合会	売上高	60.84765	kg/百万円	31.9	100.0	
17	カゴメ株式会社	売上高	13.38114	kg/百万円	92.0	100.0	原料調達から製品流通における食品ロスを削減するため、「2030年までに原料・製品廃棄量の50%削減（2018年比）」を目標に掲げ、全社的に廃棄量の削減に取り組んでいる。

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 野菜卸売業・果実卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位				単位
18	丸紅株式会社	売上高	0	kg/百万円	100.0	100.0	
19	パルシステム生活協同組合連合会	売上高	47.48459	kg/百万円	99.0	93.5	・「他に分類されない食料品製造業」では、カット野菜と肉・魚等を組み合わせたミールキットを製造していますが、青果・果物卸売業の余剰原料をカット野菜原料として使用し、有効な再生利用を促進しています。また、予備分として保管していた青果や果物は、福祉目的でフードバンクや子ども食堂、生活困窮者支援団体へ提供し活用しています。
20	株式会社 ワタリ	売上高	160.61628	kg/百万円	41.1	100.0	・従来全量廃棄を行っていた部署において、生ごみ処理機「シンクピア」を導入、廃棄物の減量化を図っている。取引先へ商品として流通できないと判断した青果物は、社内販売を実施したり、動物園への提供を通して、減量化を図っている。(量は把握していない)
21	国分フレッシュリンク株式会社	製造数量	35.45852	kg/千パック	94.5	100.0	・廃棄物運搬・処理費用の抑制の為、発生事業所にて減容化処理を実施
22	株式会社スミフルジャパン	販売数量	0.02497	kg/ケース	60.7	100.0	
23	東京新宿ベジフル株式会社	売上高	5.00615	kg/百万円	100.0	100.0	・福祉目的でのフードバンク等への食品提供量(有償:t、無償:1t)
24	株式会社 ドール	売上高	3.63917	kg/百万円	96.0	93.8	
25	株式会社セイター	売上高	24.83516	kg/百万円	0.0	91.7	
26	富山促成青果株式会社	売上高	183.52941	kg/百万円	65.6	93.3	
27	平井青果株式会社	売上高	1309.8443	kg/百万円	100.0	95.8	
28	セントライ青果株式会社	売上高	5.77078	kg/百万円	100.0	91.7	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 野菜卸売業・果実卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
29	株式会社ローヤル	売上高	18.84907	kg/百万円	72.5	88.2	再生利用等の促進のための活動は、実施していません。
30	株式会社スミフルプロセスネットワーク	売上高	41.56047	kg/百万円	49.3	95.2	
31	株式会社サンライズ	売上高	37.91762	kg/百万円	99.6	100.0	
32	山口農協直販株式会社	売上高	25.36408	kg/百万円	71.2	95.8	
33	有限会社有明冷蔵庫	売上高	1098.9011	kg/百万円	100.0	91.3	
34	株式会社 佐賀農産	売上高	159.80025	kg/百万円	100.0	88.0	傷んだ野菜を持ち込まないようにする
35	株式会社オリエンタルフーズ	売上高	160.4921	kg/百万円	51.1	92.0	
36	有限会社 ふじき	売上高	102.5641	kg/百万円	100.0	93.3	
37	有限会社 アグリプロセス宮崎	売上高	0	kg/百万円	0.0	92.0	
38	鹿児島くみあい食品株式会社	売上高	182.0149	kg/百万円	100.0	92.3	
39	株式会社 福岡中央青果	売上高	20.78009	kg/百万円	33.1	92.0	・廃棄物の見える化システムを導入しており、食品リサイクルに限らず廃棄物を全般的にデータ化。排出拠点ごと、廃棄物の種類ごとに、年度だけでなく月次で排出量やリサイクル率が見える化できているため、今年度以降も引き続き分別・減量・リサイクルの推進に努めていく。

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 生鮮魚介卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
1	有限会社三留水産	売上高	294.96505	kg/百万円	100.0	100.0	
2	株式会社 足利本店	売上高	159.38936	kg/百万円	100.0	100.0	
3	株式会社阿部長商店	売上高	240.95203	kg/百万円	100.0	100.0	
4	株式会社 行場商店	売上高	97.65763	kg/百万円	100.0	91.7	歩留まりの向上
5	株式会社マルイリフードサプライ	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	
6	株式会社カネトモ	売上高	1.19048	kg/百万円	100.0	100.0	
7	焼津漁業協同組合	売上高	11.63793	kg/百万円	100.0	72.7	
8	双日食料水産株式会社	売上高	0	kg/百万円	100.0	100.0	
9	マルハニチロ株式会社	売上高	0.22371	kg/百万円	0.0	100.0	食品廃棄物のバイオガス発電設備への有効活用等による廃棄物の有価物化( <a href="https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/sustainability/environment/build/pdf/build02.pdf">https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/sustainability/environment/build/pdf/build02.pdf</a> )
10	丸紅株式会社	売上高	0.02586	kg/百万円	92.3	100.0	
11	株式会社釣屋魚問屋	売上高	49.37274	kg/百万円	100.0	96.0	
12	フレッシュヒロウオ株式会社	売上高	144.91586	kg/百万円	100.0	95.7	
13	株式会社マツスイ	売上高	0	kg/百万円	0.0	91.7	
14	株式会社ヨンキュウ	売上高	0	kg/百万円	0.0	97.0	
15	伊万里東洋株式会社	売上高	39.98502	kg/百万円	100.0	92.0	製品歩留まりの向上の為、製品重量のバラツキを抑え、軽過量による製品の廃棄量の抑制を実施している。

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 食肉卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位				単位
1	日本一フード株式会社	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	
2	株式会社ハヤオ	売上高	42.29412	kg/百万円	14.6	100.0	
3	株式会社バル・ミート	売上高	16.50033	kg/百万円	90.9	100.0	・委託先（産業廃棄物処理業者）の視察を年1回以上実施しています。
4	株式会社コーシン	処理牛、豚枝肉総量	128.46859	kg/t	70.5	100.0	
5	株式会社マルマンストア	売上高	8.98411	kg/百万円	0.0	96.0	
6	マルハニチロ株式会社	売上高	0.53983	kg/百万円	0.0	100.0	食品廃棄物のバイオガス発電設備への有効活用等による廃棄物の有価物化( <a href="https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/sustainability/environment/build/pdf/build02.pdf">https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/sustainability/environment/build/pdf/build02.pdf</a> )
7	三菱商事株式会社	売上高	0.43518	kg/百万円	40.3	100.0	・社内の食品廃棄物が発生する部局に対し、食品循環資源の再生利用等の促進も含めた環境法規制の説明会を実施 ・社内で発生する食品サンプルの廃棄については、廃棄内容を台帳に記載することで可視化し発生抑制に努めている。
8	関東日本フード株式会社	売上高	0.16198	kg/百万円	82.8	100.0	・福祉目的でのフードバンク等への食品提供量（有償：なし 無償：なし）
9	下山畜産株式会社	売上高	121.65817	kg/t	41.5	100.0	
10	全国農業協同組合連合会	原料量	65.78947	kg/t	0.0	100.0	
11	スターゼン株式会社	売上高	1.92507	kg/百万円	13.0	100.0	
12	丸紅株式会社	売上高	0.52967	kg/百万円	55.5	100.0	
13	株式会社吉澤畜産	売上高	19.94161	kg/百万円	65.4	100.0	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 食肉卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
14	株式会社ウェルファムフーズ	売上高	0.29477	kg/百万円	0.0	94.6	
15	J A全農ミートフーズ株式会社	売上高	0.0085	kg/百万円	100.0	100.0	
16	国分フレッシュリンク株式会社	製造数量	4.16539	kg/千パック	48.4	100.0	・廃棄物運搬・処理費用の抑制の為、発生事業所にて減容化処理を実施
17	立山畜産株式会社	売上高	70.39062	kg/百万円	100.0	90.5	
18	株式会社よねー	売上高	50.90734	kg/百万円	100.0	92.6	
19	杉本食肉産業株式会社	売上高	1.22442	kg/百万円	93.4	92.6	
20	岡山フードサービス株式会社	売上高	9.99814	kg/百万円	13.0	88.2	
21	中日本フード株式会社	売上高	0.51711	kg/百万円	81.3	96.0	・特になし
22	株式会社伊勢屋	売上高	56.40555	kg/百万円	62.7	100.0	
23	福留ハム株式会社	売上高	0.30208	kg/百万円	75.4	96.3	
24	株式会社 JAアグリ島根	売上高	22.6158	kg/百万円	100.0	92.0	
25	株式会社 杉本店	売上高	53.69524	kg/百万円	81.0	87.5	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業 食肉卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
26	株式会社 ヨコオ	売上高	0	kg/百万円	0.0	96.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年1月より、設備・人員を導入して、食鳥胴ガラの全量商品化を目指す。食品残渣と調味料系残渣を分別廃棄し、一部残渣の再生利用を可能とする。製造における廃食用油は、廃油燃料化装置を利用し、全てボイラ燃料として自家消費している。</li> <li>・佐賀県地域の子ども食堂へ冷凍食品を毎月提供（2団体、全32ヶ所）また、今期3団体目への食品提供も取り組みを進めている。</li> <li>・商品開発部門において、鶏肉の骨付き商品（丸鶏・ブツ切り・骨付き冷凍食品）の開発促進を行うことにより動植物性残さの削減に取り組む</li> </ul>
27	株式会社 フジチク	売上高	70.32099	kg/百万円	100.0	92.0	
28	明治屋産業 株式会社	売上高	0.95033	kg/百万円	100.0	88.5	
29	株式会社 木原食肉生業	売上高	92.25258	kg/百万円	72.7	91.7	
30	西日本フード株式会社	売上高	0.3008	kg/百万円	37.3	92.0	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	農畜産物・水産物卸売業
	その他の農畜産物・水産物卸売業

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位				単位
1	株式会社和郷	売上高	247.27846	kg/百万円	100.0	100.0	
2	株式会社ショウナン	売上高	157.20333	kg/百万円	89.0	100.0	
3	豊通食料株式会社	売上高	3.10781	kg/百万円	28.3	100.0	・輸入貨物において品質不良となった貨物は、国内処分する前に輸出国へのシップバックを第一に検討し、食品全般の処分量を削減。
4	住商フーズ株式会社	売上高	2.17789	kg/百万円	34.6	95.7	
5	株式会社 タカムラ	売上高	38.69144	kg/百万円	0.0	94.7	
6	株式会社 焼肉の牛太	売上高	8.04542	kg/百万円	59.8	76.2	
7	南薩食鳥株式会社	売上高	0	kg/百万円	0.0	92.0	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものに限る。)

基準発生原単位 14.8kg/百万円  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
1	株式会社セイコーフレッシュフーズ	売上高	1.82843	kg/百万円	75.5	95.7	
2	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	売上高	3.00755	kg/百万円	87.6	100.0	①アカウント店着期間延長の要請、②フードバンクへの製品提供、③賞味期間延長のためのテストを実施
3	株式会社エム・シー・フーズ	売上高	5.74187	kg/百万円	97.4	93.3	文京区こども宅食への商品提供
4	メルシャン株式会社	売上高	4.91236	kg/百万円	100.0	100.0	
5	大塚製薬株式会社	売上高	5.4645	kg/百万円	92.4	100.0	食品ロス削減のため、有償で社員へ製品を提供しています。
6	花王株式会社	売上高	260.04485	kg/百万円	0.7	90.5	インターネット上での、納入期限(出荷期限)切れ商品をB品として販売したほか、社内販売にて発生抑制を図った。
7	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	売上高	1.65994	kg/百万円	96.1	100.0	
8	麒麟麦酒株式会社	売上高	0.10955	kg/百万円	91.2	100.0	
9	伊藤忠商事株式会社	売上高	19.9851	kg/百万円	99.5	96.3	福祉目的でのフードバンク等への食品提供(無償:約1t)
10	キリンビバレッジ株式会社	売上高	9.1383	kg/百万円	68.1	100.0	フードバンクへの飲料提供を継続。ニュースリリースは右記リンク先。 <a href="https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2022/0216_01.html">https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2022/0216_01.html</a>
11	丸紅株式会社	売上高	5.49928	kg/百万円	0.0	100.0	
12	株式会社 伊藤園	売上高	1.68011	kg/百万円	96.5	100.0	・定期的な処理場視察と情報交換で、より有効な処理方法を持つ取引先選定。 ・ISO14001の目標に廃却削減を掲げ、各営業所単位で取り組んでいる。 ・福祉目的でのフードバンク等への食品提供。

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものに限る。)

基準発生原単位 14.8kg/百万円  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
13	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	売上高	6.41767	kg/百万円	99.8	100.0	
14	サッポロビール株式会社	売上高	11.02738	kg/百万円	99.8	100.0	
15	株式会社JR東日本クロスステーション	売上高	0.34767	kg/百万円	99.9	100.0	①食品リサイクル対象エリア拡大によるリサイクル実施拡大、並びに、廃棄期限前商品の値引き販売による廃棄品削減、排出するゴミ削減の為店舗スタッフによる廃棄登録済商品（消費期限内商品）の持ち帰り実施。 ②閉店後に販売できなくなった商品を従業員向けに販売。
16	デイリー・プロダクツ・ソリューション株式会社	売上高	12.57261	kg/百万円	82.1	96.0	
17	サントリーフーズ株式会社	販売数量	1.66466	kg/千c/s	2.1	100.0	
18	ダイドードリンコ株式会社	売上高	21.03187	kg/百万円	67.9	91.3	フードバンク等への食品提供
19	ハウス食品株式会社	売上高	4.56732	kg/百万円	88.3	100.0	当社HPで家庭での食品ロス低減に繋がるレシピ提案等を掲載 ( <a href="https://housefoods-group.com/tsunagu/foodloss/">https://housefoods-group.com/tsunagu/foodloss/</a> )。また株式会社日本香堂との共同で、当社工場で排出された規格外コリアンダーを利用した線香を発売する等残渣の有価物化を実施 ( <a href="https://housefoods-group.com/sustainability/waste/">https://housefoods-group.com/sustainability/waste/</a> )。
20	大塚食品株式会社	売上高	5.48733	kg/百万円	89.3	100.0	
21	株式会社大塚製薬工場	売上高	117.56226	kg/百万円	98.4	91.7	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものを除く。)

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
1	株式会社シェリエ	売上高	48.23727	kg/百万円	100.0	100.0	
2	株式会社SCI	売上高	0.37421	kg/百万円	87.4	100.0	
3	はごろもフーズ株式会社	売上高	4.64566	kg/百万円	100.0	100.0	
4	株式会社 ウエハラ	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	
5	高梨販売株式会社	売上高	3.70047	kg/百万円	80.3	100.0	
6	三井物産リテールトレーディング株式会社	売上高	50.17702	kg/百万円	85.6	100.0	
7	株式会社にんべん	売上高	0.00707	kg/百万円	0.0	100.0	
8	オザックス株式会社	売上高	12.34318	kg/百万円	99.5	95.0	
9	伊藤忠商事株式会社	売上高	0.83166	kg/百万円	86.3	96.3	福祉目的でのフードバンク等への食品提供（無償：約1t）
10	株式会社 中村屋	売上高	0.47929	kg/百万円	100.0	100.0	
11	丸紅株式会社	売上高	0.75009	kg/百万円	27.6	100.0	
12	株式会社 ヤクルト本社	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	福祉目的でのフードバンク等への食品提供
13	三井物産流通グループ株式会社	売上高	0.79508	kg/百万円	78.7	100.0	
14	森永乳業株式会社	売上高	3.83094	kg/百万円	76.5	100.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自工場で豆腐製造時に発生するおからは場内で加工し、グループ会社を通じて飼料として販売している。</li> <li>・ 出荷許容期限の過ぎた製品について、事業所内でサンプリングとして消費している。</li> <li>・ フードバンク、子ども食堂などへの製品、余剰備蓄品などの提供実施</li> </ul>

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものを除く。)

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位		再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組	
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位				単位
15	三井物産サプライチェーン・ソリューションズ合同会社	売上高	4.77486	kg/百万円	94.0	100.0	・店舗ごとの需要を予測し、必要数量に応じた納品を行うことで、適正在庫を維持。これにより、過剰在庫や売れ残りを防ぎ、食品廃棄の低減に努めている。 ・外装の破損が確認された製品については、中身の安全性を確認した上で、外装を補強し再出荷を実施。品質と安全性を担保しながら、廃棄をさけることで食品ロスの低減に努めている。
16	J A全農ミートフーズ株式会社	売上高	0.63508	kg/百万円	46.5	100.0	
17	株式会社宝幸	売上高	0.0027	kg/百万円	75.0	96.4	生ごみ処理機導入(八戸2023年11月)、動植物性残渣の処分方法をメタン発酵処理に変更(西宮)
18	松田産業株式会社	売上高	1.03088	kg/百万円	12.1	83.3	
19	三菱食品株式会社	売上高	0.61972	kg/百万円	89.5	100.0	年1回の再生利用委託先への視察実施、全国事業所の再生利用未実施事業所に対し、肥飼料化業者を基本に切り替えを進めている。
20	三井物産株式会社	売上高	0.25553	kg/百万円	95.4	100.0	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものを除く。)

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
21	国分グループ本社株式会社	売上高	0.07217	kg/百万円	99.6	100.0	全国の事業所において、食品リサイクル施設（委託先企業）の見学会と廃棄物に関する勉強会を定期的を実施し、教育・啓発活動を実施している。また、廃棄物管理システムを導入することで、食品廃棄発生量とリサイクル量の「見える化」を行っている。フードバンク事業者との取り組みとして、賞味期限切れ前の商品を廉価販売または寄付することで、食糧支援のビジネスモデルの構築を試みている段階である。
22	株式会社日本アクセス	売上高	0.18851	kg/百万円	85.8	100.0	
23	モンテ物産株式会社	売上高	8.43338	kg/百万円	41.5	100.0	輸入食品の需要・供給のバランスを最新の販売・在庫データに基づき分析し、営業活動に繋げている。また、輸送途中のダメージによる廃棄品を極力抑えられるよう、フォワーダーとのコミュニケーションを密にしている。
24	株式会社ダイショー	売上高	5.89535	kg/百万円	65.6	100.0	
25	ハイツ日本 株式会社	売上高	58.02906	kg/百万円	44.7	100.0	特になし
26	株式会社 ドール	売上高	12.71054	kg/百万円	78.0	93.8	
27	阿部幸製菓株式会社	売上高	0.19877	kg/百万円	99.6	100.0	
28	株式会社 浜乙女	売上高	0.19874	kg/百万円	92.7	84.0	
29	中部食糧株式会社	売上高	1.5223	kg/百万円	100.0	91.7	
30	株式会社Mizkan	売上高	1.97926	kg/百万円	74.6	100.0	・福祉目的でのフードバンク等への食品提供量
31	株式会社トーカー	売上高	0.24195	kg/百万円	80.1	96.2	

食品リサイクル法に基づく定期報告において、報告内容を国が公表することに同意いただいた事業者一覧

年度	令和6年度実績
業種	食料・飲料卸売業 (飲料を中心とするものを除く。)

基準発生原単位 設定なし  
再生利用等実施率目標値 75%

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等 実施率 (%)	表14におけ る適の割合 (%)	食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位			
32	株式会社 ダスキン	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	・店舗では閉店間際に売れ残ったドーナツを「夜割」等の値引き販売を実施することで廃棄を回避 ・物流センターに残った原材料を社内販売することによって、廃棄を回避
33	日本ハム株式会社	売上高	0.98364	kg/百万円	74.9	96.0	
34	江崎グリコ株式会社	売上高	36.11852	kg/百万円	48.7	100.0	ふぞろい品の販売、コンポストを活用した食品廃棄物削減と「食の循環」を社員が自ら体感するプログラムの実施
35	株式会社 合食	売上高	0.13937	kg/百万円	0.0	92.6	
36	日世株式会社	売上高	7.73048	kg/百万円	85.8	100.0	・当社設定の出荷期限を過ぎた製品（賞味期限内）を子ども食堂や各地のフードバンクへ提供。単なる食材提供ではなく、子どもたちが自らソフトクリームを盛り付ける体験イベントも開催。
37	大塚食品株式会社	売上高	5.7607	kg/百万円	92.3	100.0	
38	株式会社 やまひろ	売上高	0	kg/百万円	0.0	100.0	
39	日本食研ホールディングス株式会社	売上高	3.08954	kg/百万円	48.6	95.8	
40	株式会社 あじかん	売上高	0.13493	kg/百万円	93.4	100.0	昨年度同様フードバンク、子供食堂へ食材提供を実施するとともに、新たにフードドライブを実施し、従業員の家庭等にある食材等をフードバンク等へ提供する取り組みを開始した。